



南高SSHだより

第13号
H27.4.21
新潟南高等学校
SSH部発行

昨年度SSH事業の追加報告です！

①マス・フェスタ(全国数学生徒研究発表会)参加

全国のSSH校が数学の課題研究を発表する「第6回マス・フェスタ(全国数学生徒研究発表会)」がエル・おおさかを会場に、平成26年8月23日(土)に行われました。参加校数は46校。本校からは、3年生4名が「ベルトランの逆説」の課題研究を発表しました。

開会式の後、5つの分科会に分かれ、口頭発表を行いました。生徒たちは、原稿を見ず、自分たちの研究した成果を、自らの言葉で堂々と発表していました。発表後は質問も出ましたが、その質問に対しても適切に答えていました。また、他校のすばらしい研究発表を聴き、大いに刺激を受けてきました。午後の発表の後は、終日ポスター発表を行いました。開場とともに大勢の高校生や一般の方が入場し、生徒は一生懸命自分たちの研究の説明を行いました。

また、交代で他校のポスター発表を見学することで自分たちの研究の参考にしていました。最後に閉会式が行われ、生徒研究発表会が終了しました。

全国のSSH校の研究成果に触れ、本校の生徒も大変刺激を受けました。本校2年生の「課題研究」も今後さらに進化、発展していくことでしょう。どんな結果が得られるか、来年が本当に楽しみです。

※その他、詳しくはSSHのホームページをご覧ください。

～参加した生徒の感想より～

- ・他校の発表は、ポスターのレイアウトや話し方など参考になるところがたくさんあった。来年に生かしたい。
- ・たくさんの指摘や質問とともに激励の言葉もいただいたので、大変励みになった。



② 1学年環境プレゼンテーションフェスティバル 開催

平成27年3月6日（金）、本校第1体育館を会場に上記フェスティバルが開催されました。内容は、新潟経営大学の市島清貴先生とティモシー・フィニー先生、羽田春喜前校長先生をコメンテーターにお迎えしての、全16ペアによる英語のプレゼンテーションでした。このフェスティバルは「SSEI」の一環として、環境問題やエネルギー問題をテーマに探究学習を行い、プレゼンテーションを英語で行うことにより、科学的諸課題に対する意識を高め、英語でのコミュニケーション能力や表現力の向上を図ることを目的に行われているものです。発表者の態度やプレゼンテーション能力はもちろんですが、聞いている1学年全体の態度も良好で、大変有意義なフェスティバルとなりました。



～参加した生徒の感想より～

- ・発表者は全員堂々と発表していて、素晴らしかった。内容もバラエティーに富んでいて、新しく知ったことも多かった。スライドも見やすくて良かった。
- ・発音がとても良くて真似したいと思った。「環境」をどう捉えるかによって、全く違う内容の発表になるのかと驚き、想像力が豊かだと思った。
- ・どの発表も聞いていて本当に面白かった。日本語のスピーチを聞くのとはひと味違う楽しさがありました。発表者の皆さん、素敵な時間をありがとう。
- ・英語でのスピーチだったが、身振り手振りがあって、意見や考えが良く伝わってきました。
- ・とても刺激を受けた。自分も英語をもっと頑張ろうと思った。

